

## ティーチング・ポートフォリオ

### 1. 教育の責任

2022年度の担当科目一覧表

科目区分 (教養/専門/教職)	科目名	種別 (必修/選択)	開講時期	受講者数
教養	基礎情報科学演習 1(子ども 1)	必修	1年前期	21
教養	基礎情報科学演習 1(子ども 2)	必修	1年前期	21
教養	基礎情報科学演習 1(健康栄養)	必修	1年前期	39
教養	基礎情報科学演習 2(健康栄養)	選択	1年後期	39
教養	基礎情報科学演習 2(子ども 1)	選択	1年後期	20
教養	基礎情報科学演習 2(子ども 2)	選択	1年後期	21
専門	情報管理演習 1(文化教養 A)	選択	1年後期	20
専門	情報管理演習 1(文化教養 B)	選択	1年後期	20
専門	情報管理演習 2(文化教養 A)	選択	2年前期	21
専門	マルチメディア表現技法(文化教養)	選択	2年前期	13
専門	応用情報科学演習 (健康栄養)	選択	1年後期	35

\*科目区分：「教養」、「専門」、「教職」の3つから指定すること。

\*種別：「必修」、「選択」の2つから指定すること。なお、選択必修は「選択」とする。

### 2. 教育の理念

ICTの利用は現代社会においては必須であり、コンピュータのハードウェアやソフトウェアの進歩に伴い、より高度な利用方法も求められている。コンピュータの利用の目的としては、情報の収集・分析・発信の3つが重要と考えており、担当している科目でこれらの基本的な知識や技術を習得してもらうことを目標としている。

### 3. 教育の方法

対面での授業の時はできるだけ演習に時間を取り、その場で質問を受け、共通する質問については受講者全員に対して解説をするなどして工夫している。また、時間外にも個別に質問を受けて付けており、実際にPCを操作させながら指導をしている。さらには、moodleを用いたFWJConLine上で課題を提出させ、その課題に対するフィードバックを行っている。また、有用だとも思われるものについては、個別に受けた質問に対する回答をFWJConLine上に掲載して、受講生に周知している。

### 4. 教育の成果

基礎情報科学演習 1, 2については、Excelの授業に関しては難しかったと感じている学生も少なからずいたが、おおむね丁寧に分かりやすかったという評価が多かった。可能な限り授業内で質問を受け付け、その場で指導をするようにしていたことが奏功したと考えられる。情報管理演習 1, 2については、資格試験対策も含まれており、文書作成の分野およびデータ活用の分野でも

合格者が出ており、講義による成果が認められた。また、授業の評価も丁寧で分かりやすかったという評価が多かった。また、マルチメディア表現技法についてはプログラミングを教えており、難しく感じると危惧していたが、楽しかったという意見が多かった。

## 5. 今後の目標

社会人として必要な ICT のスキルを習得してもらうことを目標としているが、そのためには PC の基本的な操作や文書作成・データ活用の方法などについての基礎を身に付けてもらうとともに、報告・連絡・相談なども ICT 機器を利用してできるようになる必要がある。その目標のために、すべての講義において、課題提出や質問なども電子メールや moodle などの ICT を活用した方法での双方向のコミュニケーションをさらにすすめて、ICT 機器を利用の頻度を高めていくことを目標とする。さらに、ICT 関連の資格試験取得を目標としてもらい、各自の到達度を確認しながら学習を進めていくように指導していきたい。

## 6. 根拠資料

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書
- その他 (FWJConLine「基礎情報科学演習 1」「基礎情報科学演習 2」「情報管理演習 1」「情報管理演習 2」「マルチメディア表現技法」コース等)